

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス みらい		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月5日 ～ 2025年1月31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12 (回答数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からご希望があれば、必要書類を速やかに渡している。	学校や園に渡す書類と事業所に提出する書類をわかりやすく分けて配布し、どの書類をどこに渡すかを必ず説明している。	保護者からのご希望があった時にすぐに必要書類を用意し、来所時には渡せるようにする。
2	保護者から保育所等訪問のアンケートを取っている。	アンケートを確認し、保育所等訪問の目的やどのような視点で観察すればよいかを把握しやすくしている。	訪問専門支援員と訪問されるスタッフにアンケートのコピーを配布し、保育所等訪問の目的や観察する時にどのような視点を持つかを意識できるようにする。
3	保育所等訪問をすることで、今後児童とどのように関わったらよいか分かり、支援に活かすことができた園や学校から感謝されることがある。	児童の困り感の原因を分析し、どのようにすればよいかを情報交換会で助言をしている。事業での児童の様子と日頃行っている支援について話をし、情報共有を行っている。	園や学校と情報共有を行い、児童の支援の方法の共通理解をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問に行ける日が限られており、事業所と園や学校と予定を合わせるのが難しい時がある。	保護者が保育所等訪問で希望されていることを事業所と園や学校で情報共有し、訪問日程の調節を行う。	園や学校とこまめに連絡を取り、保育所等訪問が行えるようにしていく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス みらい（保育所等訪問）

公表日 2026 年2月10 日

利用児童数

年 月 日

回収数 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7	0	0	0		現在訪問支援で教材教具を使っていないが、必要があれば教材教具を用意する。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6	1	0	0	個室はないように感じる。	プライバシーを配慮して、面談の場を提供する。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7	0	0	0		保育所等訪問の目的の説明を行う。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7	0	0	0	希望するとすぐに動いて頂けています。	保護者のご希望を基に、訪問頻度や観察する時間を訪問先と相談している。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	7	0	0	0		訪問専門支援者と対象の児童の担当者として2名で必ず訪問している。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0		子どもたち1人1人の特性を理解し、必要な支援を行う。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		保護者のご希望を基に、支援計画を作成する。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7	0	0	0		訪問先の担任の先生のご意見を基に、支援計画を作成する。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		ガイドラインに沿って、支援計画を作成する。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		支援計画に沿って、訪問支援を行う。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		訪問先へ配慮して、訪問支援を行う。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		保育所等訪問を利用されるにあたり、運営規程、利用者負担等を説明する。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		支援計画を提示して、内容の説明を行う。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	0	0	1		年2回ほどペアレント・トレーニングを行っている。また、アンガーマネジメント講座も行っている。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		子どもたちの健康状態、発達状況、課題を把握し、周知を徹底していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0		訪問後必ず面談を行い、訪問時の様子や訪問先の方との情報交換の内容についてお伝えしている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		保護者のご希望や子どもたちに寄り添って、訪問支援を行う。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0		保護者から保育所等訪問の希望がある時は、速やかに必要書類を渡している。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		保護者や子どもたちの意思を尊重して、訪問支援を行う。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		訪問先との情報交換を必ず行い、必要な助言を行っている。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	0	0	0	訪問先との情報交換を必ず行い、訪問の目的や保護者からのご希望をお伝えしている。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7	0	0	0	訪問後必ず面談を行い、訪問時の様子や訪問先の方との情報交換の内容についてお伝えしている。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	0	保育所等訪問事業の案内をかわら版に掲載する等、発信を適宜行っていく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0	個人情報には十分に留意していく。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7	0	0	0	訪問当日に、対象の児童が欠席した時は、速やかに訪問先から連絡がある。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0	子どもたちの安全に配慮して、訪問支援を行う。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7	0	0	0	支援者が訪問しても、子どもたちは笑顔で関わったり、話しかけたりしているので、嫌がっている様子はない。
	28	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	訪問支援をしてもらえてよかったというご意見を多数頂いている。今後も保護者のニーズを理解し、必要な支援を行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月10日				
児童発達支援・放課後等デイサービス（保育所等訪問）						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	現在、訪問支援に教具教材を使用していない。	必要があれば、適切な教具教材の使用を検討する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	訪問専門支援員1名と対象の児童をよく理解している支援者1名で訪問している。	今後もスタッフ2名で訪問支援を行う。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	訪問先での児童の様子について話をし、今後の支援に繋げていけるようにしている。	訪問先でのこの情報共有に努め、今後の支援に活かしていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保育所等訪問を希望された保護者にアンケートを配布している。アンケートで頂いた保護者の意見を基に業務改善に努めている。	今後も保護者の意見を基に、業務改善をしていく。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	従業者の意見を基に、業務改善に努めている。	今後も従業員の意見を基に、適宜業務改善をしていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	現在、外部評価を行っていない。	必要があれば、外部評価を検討する。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月1回研修を行っている。	今後も月1回研修を継続していく。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	保護者の希望に沿って、支援計画を作成している。	保育所等訪問での保護者の希望を把握し、支援計画を作成する。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	保育所等訪問の目的や保護者のニーズは訪問するスタッフに伝えている。子どもの最善の利益を考慮した上で支援計画を作成している。	保育所等訪問の目的や保護者のニーズは訪問するスタッフに周知していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	訪問先の担任と保育所等訪問の目的や保護者のニーズの情報共有をし、担当者の意向を入れて支援計画を作成している。	担当者からの意向も入れて支援計画を作成する。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	保護者のニーズと保育所等訪問の目的は訪問スタッフと情報共有し、計画に沿った支援を行っている。	今後も訪問スタッフと保護者のニーズや保育所等訪問の目的を共有する。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	標準化されたツールを用いている。	今後もアセスメントや日々の行動記録等を活用していく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに沿って、支援計画を具体的な内容で作成している。	今後もガイドラインを確認しながら、支援計画を作成していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	保護者のニーズと保育所等訪問の目的は訪問スタッフと情報共有し、計画に沿った支援を行っている。	今後も訪問スタッフと保護者のニーズや保育所等訪問の目的を共有する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	事前に保育所等訪問の目的と保護者のニーズは訪問スタッフに伝えている。	チームで連携して支援を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	情報交換会を設けて、今後の支援に必要な助言を適宜行っている。	今後も情報交換会を行い、今後の支援に繋げていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0	訪問先の理念が理解できていない時がある。	事前に訪問先のことを調べておく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0	児童の園や学校での様子を記録している。また、情報交換会で話し合った内容の記録も取っている。	記録は必ず残し、今後の支援に活かしていく。

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	訪問終了後、保護者との面談を行い、園や学校での様子、情報交換会で話した内容について報告している。	今後も保育所等訪問終了後の保護者の面談を行う。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		機会があれば、参加を検討する。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要があれば、関係機関と連携をしている。	関係機関とも必要に応じて連携していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて、活動記録や事業所での様子の記録を提供することがある。	小学校や特別支援学校との情報共有を適宜図っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	月1回研修を行っている。	今後も月に1回研修を行う。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0		機会があれば、参加を検討する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送り迎えの時や面談時に子どもの様子を伝えている。	日頃から子どもの様子を伝えていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		保護者向けの研修を行う。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	運営規程、利用者負担などの説明は行っている。	今後も運営規程や利用者負担の説明をする。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	保育所等訪問の資料を配布し、訪問支援の目的を説明をしている。	訪問先には保育所等訪問の目的や趣旨を適宜説明する。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	子どもや保護者の意思を尊重し、子どもの最善の利益を踏まえて、保護者の意向を確認している。	子どもの最善の利益、子どもや保護者の意思の尊重を踏まえて、保護者の意向を確認する。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	計画書を提示しながら、内容説明を行い、保護者の同意を得ている。	今後も計画書を提示して、支援内容の説明を行う。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて子育てサポートを行っている。面談にて、必要な助言をしている。	今後も必要に応じて子育てサポートや面談を行う。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	今年度から保護者会を月に1回行っている。	今後も引き続き保護者会を行う。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	保護者からの相談があった時は、速やかに臨時面談の日を調節して行っている。	引き続き、保護者の希望があれば、適宜臨時面談を行う。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページにて保育所等訪問の案内を行っている。	ホームページやかわら版等に、保育所等訪問事業の案内を掲載する。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		個人情報の取り扱いには十分留意する。
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カードやホワイトボードを使った視覚支援等、子どもにわかりやすいように伝えている。	子どもたち1人1人の特性に合わせて、視覚支援等を行う。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	情報交換会の時間を設けて、必要な助言や担当の先生の相談に応じている。	今後も訪問支援後、必ず情報交換会を行う。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	情報交換会を毎回行っている。	今後も情報交換会を行い、必要な助言や支援を行う。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	保育所等訪問終了後、毎回面談を行い、園や学校での様子や情報交換会で話した内容を保護者に伝えている。	今後も保育所等訪問終了後に、保護者との面談を行う。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		個人情報の取り扱いには十分留意する。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	訪問先からの相談も適宜行っている。	今後も訪問先の方との信頼関係を築いていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		災害が起こった時の避難訓練を適宜行っている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		安全計画の回覧し全職員に周知を行う。設備点検も適宜行う。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットの回覧を行い、全職員に周知している。	ヒヤリハットの内容を全職員に周知し、再発防止に努める。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止の研修を行っている。	今後も虐待防止研修を継続する。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		現在は、身体拘束を必要としていない。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026 年2 月 10 日

児童発達支援・放課後等デイサービス みらい（保育所等訪問）

利用児童数

年 月 日 回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	1	0	クレーン現象の際の対応をその場で知ることができたのでよかったです。	訪問先の方にわかりやすく、具体的に説明や助言を行う。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11	1	0	ABAを新たに知り、内容も理解することができ保育にも取り入れていきたいです。	ABA療育のことを分かりやすくお伝えする。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	2	0	学校外での様子が分かりました。1つひとつの行動に対して、丁寧に回答していただき、理解ができました。	訪問先の方から質問がある時は、適宜回答していく。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	2	0	見守りと積極的な働きかけとのバランスに悩んでましたが、本人の現状はどうかアドバイスを頂いて助かりました。どう対応すればよいかの確に教えて頂くことができた。	訪問先の先生の困り感が解消されるようにしていく。また、対象児童の現状をしっかりとお伝えしていく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	11	1	0	専門的な視点からアドバイスをいただけて今後に活かすことができてよかった。	訪問専門支援者の助言が今後に活かせるようにしていく。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
訪問支援員の先生に具体的教えて頂き、学びの深い時間となりました。本児童がよりよい学校生活を過ごしていけるように学習面・生活面ともにご助言・ご指導頂けたらと思います。 訪問後の保護者への説明時の保護者の様子が気になります。 訪問支援をして頂く目的として、学校とデイサービスの取り組みが、同じ課題解決に向けて協力するためにするのだと考えています。 今度とも本児童のよりよい成長のためにご協力よろしくお願い致します。 本児童に対する情報交換ができてよかったです。 本児童の練習に対しての取り組み、葛藤を乗り越えていく課程を見て頂き助かりました。					訪問先の方の困り感や悩みが解消され、今後に活かせるように必要な助言をしていく。 保育所等訪問の目的を訪問先に説明し、支援者と訪問先の方が共通意識が持てるようにしていく。必要に応じて、学校や園との連携を図っていく。	